

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 114

学校名・団体名	五島市教育研究会技術・家庭科部会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	意欲的にもものづくりに取り組む生徒を育てる
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>五島という離島の地で普段実技研修を行う機会が少ない中、平成32年度から新学習指導要領が完全実施される。そこで、新教育課程に向けての研修を行うとともに、少ない教師集団ではあるが、得意分野の担当教師が講師となり、技術指導などを協力して行う。指導力が向上することにより、ものづくりに対して意欲を持った生徒を育成する。</p>	

1 本年度の活動内容

(1)第 61 回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会

11 月 30 日から 12 月 1 日にかけて鹿児島市で第 61 回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会が開催された。鹿児島県を中心に新学習指導要領に向けての現在の取り組みの様子が発表された。また、文部科学省初等中等教育局教育課程調査官の上野耕史氏、筒井恭子氏から指導講評を受けた。内容はビデオ等に収録し、部会において伝達を行った。

(2)出前講座

11 月 9 日、福江中学校パソコン室で県教育センター指導主事の久保剛志氏に來島いただき、新学習指導要領を見据えた情報分野の講義と実習を行っていただいた。プログラミングと制御の学習で使用できるプログラミングソフトや教材を紹介していただいた。

(3)ロボット製作実技講習及びロボットコンテストの実施

①第 1 回技術・家庭科部会 7 月 10 日 福江中学校パソコン室

今年度の研究内容について確認を行った。本教科は、免許外で指導されている学校もある。そこで、本年度はロボコンを市全体で、研修を進めながら実践していくこととした。市ロボットコンテストを 10 月 22 日福江文化会館で実施することを確認した。

②第 2 回技術・家庭科部会 9 月 19 日 福江中学校パソコン室

ロボコンのルールを全部員で読み合わせ、ルールについての確認を行った。これまで、市内で販売されていなかった MDF 板を購入し、県大会以降と同じ条件で試合ができる環境作りを行うことを確認した。その後、これまでロボット製作に取り組んできた先生を講師に製作実習に関する講義・演習を行った。最後に、コート及びロボット製作については、市内でサポートし合うことを確認し終了した。

その後、コートの製作を協力したり、学校同士の交流を行ったりし、ロボット製作に対する各校の意識が向上した。

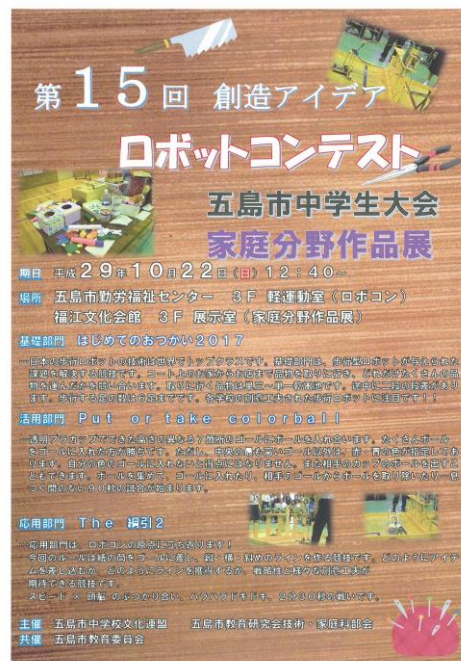
③第 3 回技術・家庭科部会 10 月 11 日 福江文化会館、福江中学校パソコン室

これまで学校で実施していたロボットコンテストを地域、小学校の児童などに見てもらいたいと考え、交通の便が良い福江文化会館で実施することになった。近隣の施設には、ロボットコンテストを PR するためにポスターを作成し掲示した。会議では、最終のルールの確認と運営方法について話し合いを行った。

④第 15 回創造アイデアロボットコンテスト五島市中学生大会 10 月 22 日 福江文化会館

当日、台風接近で大会自体の運営も危ぶまれた中、海上時化のため 1 校不参加となりました。その中でも 3 部門に島内 6 校からのべ 96 名が出場しました。右の写真の通り、多くの観覧者が見守る中、生徒たちも素晴らしいパフォーマンスを発揮しました。

その後、県大会でも本市から出場した選手が素晴らしい成果を残し、2 校から 4 部門 13 名の生徒が九州大会に出場し、活用部門では 3 位という素晴らしい結果を残しました。



2 今後の成果と課題

今回ちゅうでん教育振興財団から補助金で、各校不足している材料を購入させていただき充実した製作が各校できた。また、多くの方々から生徒の頑張りに賞賛をいただいたと同時に技術・家庭科の学習にも理解していただく良い機会となった。今年度、本県の抱えている問題として、離島地区の学校の教員は地元出身を除いて 3 年で教員が入れ替わる。五島市のロボコンを継続していくためにも、教員のスキルを維持することが課題である。また、今回ロボコンの研修と新学習指導要領についての研修になったので、次年度以降計画的に他の領域も研修を深めていかなければならない。